

## 平成25年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	小児初期救急平日夜間診療事業委託	重点評価区分	重点	担当部	保健所
				担当課	地域保健課

## 基本情報

## 1 事務事業の概要

開始年度	平成14年度	根拠法令	平日夜間こども診療協定書
性質区分	サービス提供	実施形態	区単独（委託）
対象者	15歳以下のこども		
裁量区分	あり		
実施内容 （事務事業の実施内容、手段、過去の改善実績等）	<p>立石休日応急診療所（葛飾区医師会館内）の施設を利用し、平日の夜間に小児を対象とした初期救急医療サービスの提供や電話による医療相談に対応する。診療所の運営は、区から委託を受けた葛飾区医師会が行い、医師会会員である区内小児科医を中心に診療を行う。重篤者等緊急対応が必要な患者については、東京慈恵会医科大学葛飾医療センター・東部地域病院と連携し対応している。なお、施設の利用案内については、毎号の広報紙、葛飾区公式ホームページ、テレホンサービス（ひまわり）などで情報提供する。</p> <p>【診療日・受付時間】 月曜日～金曜日・午後7時30分～9時45分</p>		

## 2 施策及び事務事業目的

施策番号	施策	0201	医療機関との連携を図り、必要な医療を提供できるようにします
事務事業目的	急な子どもの疾病に対する保護者等の医療不安を解消する。		

## 実績情報

## 1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
受診者数	—	人	目標	3,500	3,500	3,500
			実績	2,351	2,047	1,837
電話相談件数	—	件	目標	2,500	2,500	2,500
			実績	1,472	1,065	883

## 2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
診療日数	—	日	目標	243	243	243
			実績	243	243	243
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	24年度	
収入	特定財源			
	国庫支出金	千円	0	
	都道府県支出金	千円	3,675	
	その他	千円	0	
	一般財源 (a)	千円	5,195	
支出	直接事業費 (b)	千円	8,080	
	委託料	千円	8,080	
		千円		
		職員人件費 (c)	千円	790
		人件費	千円	790
			人	0.10
	再雇用職員	千円	0	
		人	0.00	
	間接費 (d)	千円	0	
	調整額 (e)	千円	80	
	減価償却費	千円	0	
	金利	千円	0	
	退職給与引当	千円	80	
	(控) コスト対象外	千円	0	
	トータルコスト (f) (b + c + d + e)	千円	8,950	

4 単位あたりコスト

項目	単位	24年度
単位の定義		サービス提供回数（受診者数）
実績数値 (g)	人	1,837
単位あたり区単コスト (a/g)	円	2,828
単位あたりコスト (f/g)	円	4,872

## 平成25年度事務事業評価表（重点評価）

事務事業名	小児初期救急平日夜間診療事業委託	担当部	保健所
		担当課	地域保健課

### 過年度の実績状況の評価と今後の方向性

実績状況の評価	事業を開始してから10年を過ぎ、かかりつけ医制度が浸透してきたこと（平成24年度葛飾区保健医療実態調査数値：かかりつけ医を決めている人の割合66.1%）、近年の医療機関における診療時間の延長などの影響もあり、受診者数、電話相談件数ともに、前年度割れしているも、民間との補完関係がスムーズに推移しているものと考察でき、本事業は円滑に利用されている。		
今後の方向性	改善	今後も、区と民間との役割分担に配慮しつつ、かかりつけ医制度の推進を図っていく中で本事業を実施し、区民の急なこどもの疾病に対する保護者等の不安を解消して、必要な医療を提供できる公的体制を維持すべく改善を進める。	
	継続		

### 「今後の方向性」に基づく取組内容

#### 1 今後の成果指標の目標値

成果指標	指標の根拠・計算式など	単位	区分	25年度	26年度	27年度
			目標			
			目標			

#### 2 今後の活動目標及び活動指標の目標値

活動目標	視点	活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度
				目標			
				目標			
				目標			
				目標			

行政評価委員会の意見や予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載し、区民に公表します。

このページは白紙です。

## 平日夜間こども診療事業

事業開始	平成14年4月 葛飾区医師会に事業委託
場所	立石5-15-12 葛飾区医師会館内 立石休日応急診療所
診療日	平日(土曜日、国民の祝休日、年末年始及び8月15日を除く)
診療時間	午後7時30分から午後10時(受付は午後9時45分まで)
診療科目	小児科
診療体制	医師、看護師、事務員 各1名
対象者	原則15歳以下のこども

このページは白紙です。



このページは白紙です。

# 平日夜間こども診療 月別患者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	診療日 1日平均	転送 患者数
22年度	209	143	223	195	191	148	166	184	241	184	242	225	2,351	9.7	48
23年度	160	142	157	187	178	159	125	129	158	181	282	189	2,047	8.4	43
24年度	140	132	129	208	197	135	129	155	149	150	174	139	1,837	7.6	36
25年度	119	120	123										362	6.4	8

6

このページは白紙です。

## 葛飾区内平日夜間 小児科診療所 診療時間状況

小児科診療所 全101ヶ所

診療終了時間	月	火	水	木	金
18時30分以前	63	64	58	46	65
19時	27	26	20	17	26
19時30分	1	1	0	1	1
20時	5	3	5	3	5
20時30分	0	0	0	0	0
21時	1	1	0	1	0
21時30分	1	0	1	1	1
22時	0	0	0	0	0
休診診療所	3	6	17	32	3
計	101	101	101	101	101

平日夜間  
こども診療所  
診療時間  
19時30分  
～22時

※ なお、表外の小児科診療所全101ヶ所とは、診療科目に小児科がある区内診療所の合計数である。

また、集計は、診療所を曜日別診療終了時間で集計した数値である。

このページは白紙です。

## 平成24年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	小児初期救急平日夜間診療 事業委託	重点評価 区分	—	担当部	保健所
				担当課	地域保健課

## 基本情報

## 1 事務事業の概要

開始年度	平成14年度	根拠法令	平日夜間こども診療協定書
性質区分	サービス提供	実施形態	区単独（委託）
対象者	15歳以下のこども		
裁量区分	あり		
実施内容 （事務事業の実施 内容、手段、過去 の改善実績等）	立石休日応急診療所（葛飾区医師会館内）の施設を利用し、平日の夜間に小児を対象とした初期救急医療サービスの提供や電話による医療相談に対応する。診療所の運営は、区から委託を受けた葛飾区医師会が行い、医師会会員である区内小児科医を中心に診療を行う。重篤者等緊急対応が必要な患者については、慈恵医大付属青戸病院・東部地域病院と連携をとり対応している。「こどもクリニック」の利用については、毎号の広報紙で案内をしている。		

## 2 施策及び事務事業意図

施策	名称	医療体制
	意図	身近な所に医療機関があり、必要な時に医療を受けている。
事務事業意図		急な子どもの疾病に対する保護者等の医療不安が解消されている。

## 実績情報

## 1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
受診者数	—	人	目標	3,500	3,500	3,500
			実績	2,678	2,351	2,047
電話相談件数	—	件	目標	2,500	2,500	2,500
			実績	2,012	1,472	1,065

## 2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
受診者数	—	人	目標	3,500	3,500	3,500
			実績	2,678	2,351	2,047
診療日数	—	日	目標	242	243	243
			実績	242	243	243
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	21年度	22年度	23年度
収入	特定財源				
	国庫支出金	千円	0	0	0
	都道府県支出金	千円	3,675	3,675	3,675
	その他	千円	0	0	0
	一般財源 (a)	千円	5,161	5,380	5,156
支出	直接事業費 (b)	千円	8,096	8,315	8,111
	委託料	千円	8,096	8,315	8,111
		千円			
	職員人件費 (c)	千円	740	740	720
	人件費	千円	740	740	720
		人	0.20	0.20	0.20
	再雇用職員	千円	0	0	0
		人	0.00	0.00	0.00
	間接費 (d)	千円	0	0	0
	調整額 (e)	千円	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	
	金利	千円	0	0	0
	退職給与引当	千円	0	0	0
	(控) コスト対象外	千円	0	0	0
トータルコスト (f) (b+c+d+e)		千円	8,836	9,055	8,831

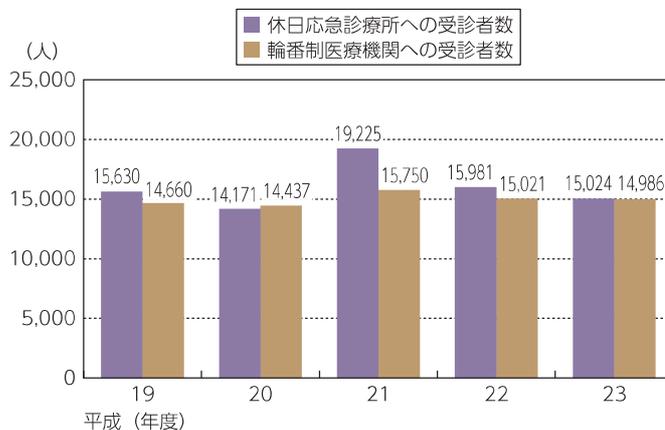
4 単位あたりコスト

項目	単位	21年度	22年度	23年度
単位の定義		サービス提供回数（受診者数）		
実績数値 (g)	人	2,678	2,351	2,047
単位あたり区単コスト (a/g)	円	1,927	2,288	2,519
単位あたりコスト (f/g)	円	3,299	3,852	4,314

**施策  
01**
**医療機関との連携を図り、必要な医療を提供できるようにします**
**【施策を取り巻く現状と課題】**

- 医療技術の進歩により入院日数の短縮が進んだことや高齢化の進行により、在宅で医療を受ける人の数は増加しています。
- 当区では、休日・夜間の応急診療所の運営や、障害児・者や寝たきり高齢者に対する歯科診療の提供などを行っており、休日応急診療は、年間約3万人の利用があります。
- 大規模災害の発生に備えて、区内14か所を医療救護所に、2か所を歯科医療救護所に指定し、職員の動員体制の整備や医療救護活動用物品の備蓄を図ってきましたが、災害時における医療人材の確保など、現在の医療資源を踏まえた見直しが求められています。

休日応急診療事業の受診者数



出典：地域保健課資料

**【施策の方向】**

- 区民が質の高い医療を地域で安定的に受けられることができるよう、医療資源の確保に努めるとともに、医療機関等の連携強化を図り、在宅医療体制などを充実します。
- 休日や夜間などの応急の医療体制を引き続き確保します。
- 大規模災害時に区民の生命を守るため、災害時の医療救護体制の再構築を進めていきます。



診療の様子 (イメージ)

**【指標と目標値】**

指 標	指標の説明又は出典	現 状 値 (平成23年度)	平成27年度	平成30年度	平成34年度
かかりつけ医を持っている区民の割合 (%)	政策・施策マーケティング調査	72.4	74.8	76.6	80.0

**【区民の役割】**

□ かかりつけ医を持ち、症状について気軽に相談できる関係を築きましょう。

**〈事業一覧〉 (平成24年度実施)**

地域医療連携事業	休日応急診療事業（輪番制）委託
東京都夜間休日連絡通報受理業務委託	小児初期救急平日夜間診療事業委託
地域医療保健衛生従事者表彰事務	障害児・者歯科診療
看護師等養成事業費助成	ねたきり高齢者歯科診療
休日・土曜応急診療事業（固定診療所）	